

平成 30 年度

北但行政事務組合決算審査意見書

一 般 会 計  
基 金 運 用 状 況

北但行政事務組合監査委員

令和元年9月18日

北但行政事務組合

管理者 中 貝 宗 治 様

北但行政事務組合

監査委員 保 田 勇 一

監査委員 奥 村 忠 俊

平成30年度北但行政事務組合一般会計決算  
及び基金運用状況の審査意見について

地方自治法第292条において準用する同法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により審査に付された、平成30年度北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算及び附属書類並びに平成30年度基金運用状況について審査したので、次のとおりその意見を提出します。

## 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	総括	2
2	決算の概要	3
3	財政の状況	4
4	財産の状況	6
5	基金の運用状況	7
6	審査の所見	7
[参 考 資 料]		
	歳入歳出決算前年度比較表	9

※ 各表中、一部の表は資料の都合により千円単位で表示しており、合計と内訳の計、差引及び前年度比較が一致しない場合がある。

**平成30年度北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算  
及び基金運用状況の審査意見書**

**第1 審査の対象**

- |   |        |                    |
|---|--------|--------------------|
| 1 | 平成30年度 | 北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算 |
| 2 |        | 同 歳入歳出決算事項別明細書     |
| 3 |        | 同 実質収支に関する調書       |
| 4 |        | 同 財産に関する調書         |
| 5 |        | 同 基金の運用状況に関する調書    |

**第2 審査の期間**

2019年6月12日から9月17日まで

**第3 審査の方法**

- 1 平成30年度北但行政事務組合一般会計歳入歳出決算書及び附属書類について、会計管理者及び組合当局から必要な書類の提出を求め、事項別に説明を聴取するとともに、定期監査及び行政監査の結果を参考にしつつ、審査の過程に応じ適宜関係諸帳簿と照合し計数審査を行ったほか、予算執行状況等について審査した。
- 2 平成30年度の基金について、関係諸帳簿と照合し、計数並びに運用状況について審査した。

**第4 審査の結果**

審査に付された歳入歳出決算及び附属書類は、いずれも関係法令及び議会の議決に則ったものであり、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認められた。また、事務処理についてもおおむね適正に執行されていると認められたが、事務の一部に検討等を要する点が見受けられたので、それぞれ適切な対応に努められたい。

なお、検討事項及び要望事項は「6 審査の所見」に述べているので、今後対応等を求める。また、軽易な注意事項については、その都度口頭で改善指導したので記述を省略した。

以下、審査の結果は次のとおりである。

**1 総括**

歳入総額は722,380千円、予算額対比で28,065千円の増加、歳出総額は685,747千円、予算額対比で8,568千円の減額となっている。

歳入では、ごみ処理手数料、不用物品売払収入及び電力売払収入等が予算額より増収となり、歳出では、概ね見込みどおりとなった。

歳出における不用額8,568千円の内訳は、議会費133千円、総務費1,135千円、衛生費7,000千円、予備費300千円となっている。なお、一般廃棄物処理施設基金へ17,502千円の積立を行っている。

施設運営事業者としてタクマグループの設立したSPC（特別目的会社）「ほくたんハイトラスト株式会社」が管理業務を行っている。

市町別のごみの受入状況は、豊岡市28,889.13 t（一般廃棄物処理基本計画対比101.47%）、香美町6,019.09 t（一般廃棄物処理基本計画対比97.13%）、新温泉町4,741.19 t（一般廃棄物処理基本計画対比88.61%）、全体で39,649.41 t（一般廃棄物処理基本計画対比96.43%）となっている。

平成30年度も、スムーズな受け入れ体制をとることができ、排ガス自主保証値※を遵守しながら安全に施設稼働を行っている。水銀については、自主保証値を超える恐れがあったため、4回の炉停止を行ったが、いずれも安全のための一時的な停止であり、マニュアルに基づき適正に対応し関係者に報告も行っている。

[※施設運営事業者が自主的に提案した法で定める環境基準よりはるかに厳しい値]

施設には、資源循環と環境保全について考える体験の場を備えており、施設の見学者は、各種市民団体等で61団体、1,445人、一般見学者で48人となっている。

平成30年度は、自然環境との共存・共生を図るためのイベントを13回開催し、230人の参加者があった。また、地元団体との共催により里山保全のための獣害対策講演会を初めて開催し、48人の参加者があった。

事業推進に当たり地元への報告等を行っている。施設運営委員会を1回開催し、環境保全状況、地域振興事業の進捗状況、鶏試験焼却の結果などの報告を行っている。また、毎月月例報告として、ごみ受入状況、環境監視の状況などの報告を行っている。引き続き事業運営への理解を得るよう努めている。

鳥インフルエンザ等防疫対策を行い、地元の理解を得たうえで、家畜伝染病予防法に基づき「鳥インフルエンザ発生時の防疫対策の協力に関する協定」を県と締結し、2018年4月に試験焼却を実施した。県の焼却処理作業マニュアルの作成に協力している。

北但ごみ処理施設建設に伴い策定された「広域ごみ・汚泥処理施設建設に伴う森本区・坊岡区地域振興計画」については、平成30年度は5事業（市道改良、森本団地児童公園遊具安全点検、コミュニティ活動への支援等）を実施している。

## 2 決算の概要

### (1) 決算規模

平成30年度決算額は、歳入722,380千円（対前年度比2.8%）、歳出685,747千円（対前年度比1.4%）で前年度と比較すると、歳入では19,588千円、歳出では9,245千円増額となっている。

### (2) 決算収支

歳入歳出差引額である差引（形式）収支額は36,633千円（実質収支額も同額）の黒字となっている。前年度の実質収支額26,290千円を差し引いた単年度収支は10,343千円、実質単年度収支は27,845千円とそれぞれ黒字となっている。

## (3) 決算額等の推移

直近5か年間の決算額等の推移は、次のとおりである。

(単位：千円、%)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳入	決算額	3,904,024	4,702,188	2,973,569	702,792	722,380
	前年対比	444.2	120.4	63.2	23.6	102.8
歳出	決算額	3,900,186	4,696,564	2,908,973	676,502	685,747
	前年対比	445.3	120.4	61.9	23.3	101.4
差引収支額		3,838	5,624	64,596	26,290	36,633
(うち繰越明許費繰越額)		0	0	0	0	0
実質収支額		3,838	5,624	64,596	26,290	36,633
単年度収支額		815	1,786	58,972	△38,306	10,343
一般廃棄物 処理施設基金	積立額	0	0	10,000	14,001	17,502
	繰入額	0	0	0	0	0
繰上償還金		0	0	0	0	0
実質単年度収支額		815	1,786	68,972	△24,305	27,845

(注) 一般廃棄物処理施設基金は、実質黒字要素として位置付けている。

## (4) 平成30年度決算額の概要

平成30年度の決算の概要は、次のとおりである。

<歳入>

(単位：千円、%)

款別	年度	平成30年度			平成29年度 決算額	対前年比
		予算額	決算額	収入率		
分担金及び負担金		315,090	315,090	100.0	278,408	113.2
使用料及び手数料		141,101	149,063	105.6	144,043	103.5
財産収入		34,502	37,262	108.0	34,801	107.1
繰越金		26,290	26,290	100.0	64,596	40.7
諸収入		177,322	194,675	109.8	180,944	107.6
計		694,315	722,380	104.0	702,792	102.8

< 歳 出 >

(単位: 千円、%)

目 別 \ 年 度	平成30年度			平成29年度 決算額	対前年比
	予算額	決算額	執行率		
議 会 費	1,637	1,504	91.9	1,571	95.7
総 務 費	51,476	50,341	97.8	49,973	100.7
衛 生 費	640,902	633,902	98.9	624,958	101.4
予 備 費	300	0	—	0	—
計	694,315	685,747	98.8	676,502	101.4

### 3 財政の状況

歳入総額722,380千円の内訳は、分担金及び負担金〔構成市町負担金〕 315,090千円（構成比43.6%）、使用料及び手数料149,063千円（構成比20.6%）、財産収入37,262千円（構成比5.2%）、繰越金26,290千円（構成比3.6%）、諸収入194,675千円（構成比27.0%）である。

歳出総額685,747千円の内訳は、議会費1,504千円（構成比0.2%）、総務費50,341千円（構成比7.3%）、衛生費633,902千円（構成比92.5%）である。

衛生費〔(項)清掃費(目)施設運営管理費〕の主な支出は、施設運営委託業務464,400千円、ばいじん処理委託業務33,258千円、ばいじん運搬業務等15,327千円である。

なお、施設運営委託業務は、平成28年度から20年間の債務負担行為を設定し、ほくたんハイトラスト㈱に委託している。（管理運営業務の全体契約額8,842,050千円）

#### (1) 性質別歳出の状況

性質別歳出の状況は、次のとおりである。

(単位: 千円、%)

区 分		平成30年度		平成29年度		対前年度 増 減
		決算額	構成比	決算額	構成比	
経常的 経 費	人 件 費	12,815	1.9	3,420	0.5	9,395
	物 件 費	526,789	76.8	529,199	78.2	△2,410
	維持補修費	39	0.0	230	0.1	△191
	補助費等	128,602	18.7	129,653	19.1	△1,051
	小 計	668,245	97.4	662,502	97.9	5,743
臨時的 経 費	積 立 金	17,502	2.6	14,000	2.1	3,502
	小 計	17,502	2.6	14,000	2.1	3,502
合 計		685,747	100.0	676,502	100.0	9,245

(2) 構成市町負担金の内訳

構成市町の負担金の内訳は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	処理（運営）費分	地域振興費分	負担額合計
豊 岡 市	217,897	△3,812	214,085
香 美 町	53,247	2,040	55,287
新 温 泉 町	43,946	1,772	45,718
合 計	315,090	0	315,090

(注) 1. 処理（運営）費分の負担割は、均等割（10%）、ごみ量割（90%）である。

2. 地域振興費分の負担割は、均等割（15%）、人口割（85%）である。

(3) クリーンパーク北但において発電する再生可能エネルギー電気の売電実績

ア 電 力 量 平成30年4月～平成31年3月 計13,002,587kWh

イ 売電収入額 190,517千円 バイオマス比率40.464%～70.516%

ウ 売 電 先 (株)タクマエナジー

(4) ごみ処理手数料の内訳

ごみ処理手数料の構成市町の内訳は、次のとおりである。

ア ごみ受入量

(単位：台、t)

区 分	燃 や す ご ん	燃 や さ ないごみ	粗 大 ご ん	ビン・ カ ン	ペ ッ ト ボ ト ル	そ の 他	計
豊 岡 市	35,024	4,164	4,465	1,046	426	2,279	47,404
	23,804.58	945.77	767.51	555.68	95.50	2,720.09	28,889.13
香 美 町	8,013	659	907	340	112	1,055	11,086
	4,151.76	140.66	165.11	166.36	34.98	1,360.22	6,019.09
新温泉町	2,936	236	423	7	1	311	3,914
	3,667.74	133.71	109.93	0.38	0.00	829.43	4,741.19
合 計	—	—	—	—	—	—	62,404
	—	—	—	—	—	—	39,649.41

(注) 1 市町別の上段は台数、下段は重量である。

2 新温泉町のビン・カン及びペットボトルは、一般の方が施設に直接持ち込みされたものである。

3 重量は、搬入時の計量データによるものである。

イ ごみ処理手数料

市 町	区 分	台 数	重量 ( t )	料金(円)	料金割合 (%)
豊岡市	許可	7,383	8,262.04	82,620,400	55.47
	一般	26,504	3,314.30	33,143,000	22.25
	一般事業系	1,074	461.57	4,615,700	3.10
	県・官公庁	80	20.15	201,500	0.13
	計	35,041	12,058.06	120,580,600	80.95
香美町	許可	351	301.59	3,015,900	2.02
	一般	5,843	695.21	6,952,100	4.67
	一般事業系	1,225	512.52	5,125,200	3.44
	県・官公庁	38	6.69	66,900	0.05
	計	7,457	1,516.01	15,160,100	10.18
新温泉町	許可	425	805.89	8,058,900	5.41
	一般	1,296	209.18	2,091,800	1.40
	一般事業系	434	291.53	2,915,300	1.96
	県・官公庁	19	14.49	144,900	0.10
	計	2,174	1,321.09	13,210,900	8.87
総 計		44,672	14,895.16	148,951,600	100.00

- (注) 1 許可とは、一般廃棄物収集運搬許可業者のことである。  
 2 一般とは、一般家庭や登録事業者ではない事業者のことである。  
 3 一般事業系とは、登録事業者（手数料後納業者）のことである。

※ 関係市町（直営、汚泥、災害ごみ等）及び収集運搬委託業者については、ごみ処理手数料は徴収しない。

4 財産の状況

財産に関する調書及び財産台帳により審査した。その概要は、次のとおりである。

(1) 土地及び建物 (平成31年3月31日現在・単位：㎡)

区 分		土地（地積） 現 在 高	建物（延べ面積） 現 在 高	参 考
行政財産	その他の行政機関 廃棄物処理施設	22,350.00	15,807.25	クリーンパーク北但
	公共用財産 山 林	261,732.21	56.70	森林里山ゾーン、 進入路
		その他の施設	881.81	40.57
合 計		284,964.02	15,904.52	

- (2) 山 林  
該当事項なし  
 (3) 物 権  
該当事項なし  
 (4) 無体財産権  
該当事項なし

- (5) 有価証券〔株券〕  
該当事項なし
- (6) 出資による権利  
該当事項なし

(7) 物品〔車両及び100万円以上の物品〕 (単位：台・個)

区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
その 他 特 殊 車 両 (油圧式バックホウ)	1	0	1
合 計	1	0	1

- (8) 債 権  
該当事項なし

## 5 基金の運用状況

### (1) 審査の結果

審査の対象とした一般廃棄物処理施設基金は、将来の施設取壊しのための財源として、創設された基金である。その計数は正確であり、設置目的に則して適正に運用されていると認めた。

### (2) 基金の運用状況

基金の決算年度末現在高は41,503千円である。また、当年度の基金の運用益金は2,076円（前年度770円）で、(款)財産収入(項)財産運用収入(目)利子及び配当金に基金運用利子として収入されている。

<基金の運用状況（平成31年3月31日現在）> (単位：千円)

区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高	備 考
一般廃棄物処 理 施 設 基 金	24,001	17,502	41,503	現 金
合 計	24,001	17,502	41,503	

※ 基金については、定期預金で運用している。

## 6 審査の所見

事務処理等に係る検討事項等については、次のとおりである。

### 〔検討事項〕

#### (1) 制限付入札について

構成市町内のエリアに参加者資格を限定する制限付入札を一部で実施している。契約事務が公正的確な事務処理となるように、制限付入札に関する事務の取り扱いを定めることについて検討されたい。

### 〔要望事項〕

(1) 一般廃棄物処理施設基金について

一般廃棄物処理施設基金については、将来の施設取壊しへの財源の一部として、売電収入の概ね1割程度を毎年度積み立てることとしている。取壊しのための財源手立てが限られている中で、有効な手段の一つであり、可能な限り基金積立を行われたい。

(2) 今後の施設運営業務について

S P C（特定目的会社）「ほくたんハイトラスト株式会社」が施設の運転及び保守管理業務を行っている。事故が発生しないよう業者への指導に努め、さらなる安全管理に向けて取組まれたい。

(3) 北但地域の循環型社会形成に向けて

ごみ処理は住民生活を守る不可欠で大切な仕事であり、今後とも「ほくたんハイトラスト株式会社」との連携・協力のもと、北但地域の循環型社会形成に向けて安全安心な施設運営に取組まれたい。

また、当該施設が環境学習や地域交流の拠点施設としてさらに成長するよう望むものである。

### 〔その他〕

(1) 平成29年度決算審査意見書の中で、検討事項としていた基金の運用から生じる収益については、財産運用収入として収入し、積立金（利子）として基金に積み立てる処理となっている。

(2) 平成30年度定期監査及び行政監査結果報告書の中で、要望事項としていた住民の方へのごみ搬入に係る注意については、「ほくたん便り」に掲載し住民の方への周知に努めている。またホームページ掲載中の例規集の文言修正についても、適宜行われていた。